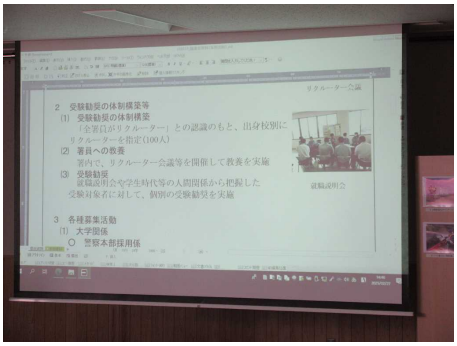
開催協議会名	令和７年第１回出雲警察署協議会		
開 催 日 時	令和７年２月27日（木）午後２時00分から午後４時00分まで		
出　席　者	**協議会委員**	10人（竹内会長、カミーラ委員、蒲生委員、曽田委員、藤原委員、安田委員、原委員、来間委員、名原委員、飯塚委員）	
	警　察　署	10人（署長、副署長、会計課長、総務課長、生活安全課長、刑事第二課長、交通総務課長、交通捜査課長、警備課長、刑事指導官）	
会議・協議	**署長からの諮問**	**諮問事項**	令和７年出雲警察署運営指針及び重点目標
		説明概要	各関係課長が諮問事項について説明した。
		答申(意見等)	１　地区の絆が強いコミュニティをつくることが地域の安全につながる。そのネットワークを通じて「警察官と一緒に各種活動をする。」という意識を持つことが大切だ。 　また、日御碕の災害では最初の頃に情報がないことが一番不安だった。「調査中」という情報でも良いので発信していただきたい。 ２　地域のコミュニティが大事なのは分かっているが、最近は新規加入が減少し、脱会が増えている。このような情勢の中、警察も治安を守ることは大変だと思うが、民生委員等との連携を強くし、きめ細かい活動をお願いしたい。 ３　昔は「困った人には手を貸す。」という考えだったが、今は「人は人。自分は自分。」という考え方に変わってきた。このような状況で警察が住民全てを守ることは難しい。家族等を大切にし、住民一人一人がルールを守ることが一番大切だ。 　ただし、住民は災害やテロには対応できないので、我々が身を守る方法等を教えていただきたい。
		諮問事項	警察職員採用募集活動への取組

		説明概要	各関係課長が諮問事項について説明した。
		答申(意見等)	1　小さい頃にイベントでパトカーや白バイに乗った子供で「将来は警察官になりたい。」と言っている者もいる。短期的に見るだけではなく、子供の頃から警察に憧れをもってもらう活動を続けることも必要と考える。 2　出雲警察署では、毎月同僚の誕生日の紹介が掲示がされていた。このような職場が明るくなり働きやすくなるような施策を行っていることを紹介すれば警察官になりたい人が増えるのではないか。
		報告事項	令和７年出雲警察署速度取締り指針
		説明概要	関係課長が報告事項について説明した。
		意見・提言	今年１月に出雲市平田地内で死亡事故が発生したが「道路が暗くて見えにくかったのかな。」と感じた。自分自身も気をつけなければいけないと感じた。
	委員からの意見・提言	1　駐在所管内の交通教室に若い警察官も来てくれれば、より心強く感じる。 また、高齢者は近づく車の速度が分かりにくくなる。体験型の教育があるといい。その際に機械を借りることができるか。 【警察】 接近する車に対して横断歩行者が道路を渡る状況など、衝突の危険性を安全に体験できるシミュレータがある。個人への貸出しはしていないが、自治会等の団体を通じて交通安全教室の開催等を申し込んでいただき、積極的に活用してほしい。 交通安全教室は警察へ直接聞いていただいても良いし、警察のホームページにも掲示している。交通安全教室以外でも地区の文化祭等のイベントで行うこともある。	

		2　交通事故をなくすため、警察でも前年比で何パーセントの減少と目標を定めるべきではないか。 【警察】 　出雲警察署で設定している交通事故の数値的な目標は、死者３人以下、重傷者数は49人としている。 3　死亡事故等の交通事故が多発する場所に看板等を設置すれば住民への注意喚起になると思う。 【警察】 　看板の設置等、どのような啓発ができるか検討したい。 4　警察官採用試験の倍率が下がっているようだが警察官の質はどうか。 【警察】 　採用後に県の警察学校で学び、昇任や専門教育で中四国管内や警察大学校で学ぶことで質が低下しないようにしている。 5　この協議会を通じて委員や警察の皆さんからすばらしい意見を伺った。これまで警察は「怖い」というイメージだったが、協議会を通じて「警察が住民を守るために努力をしている。」と分かるとともに「住民の意見も受け入れている。」と感じることができた。宝物のような経験をさせていただいた。 6　安全安心あっての生活である。テレビでは都会や田舎に関係なく「こんな事件が起こるとは。」と思う事件が発生しているが、出雲警察署はよくやってくれている。 7　凶悪犯罪とはどのような事件か。 【警察】 　凶悪犯罪とは「殺人・放火・強盗・不同意性交」を指す。かつて、性犯罪は成立要件が難しかったが、法が改正されて被害者の方が申告しやすくなり、警察の事件検挙を増加することができた。 8　出雲警察署管内での飲酒による交通事故等の発生状況はどうか。 【警察】 　飲酒運転は根絶を目指し様々な活動を実施しているが、なかなか根絶に至っていない。飲酒運転は週末や深夜が多く、運転者には男性や40代が多い。

		9　警察だけでは限界がある。民間や学校、様々な分野も活用すべきである。そうすれば、住民の意識も高めることができて警察の負担も減り、ワークライフバランスにつながる。結果的に警察官になりたい人も増えるといいと思う。 【警察】 　警察だけでは考え方が凝り固まってしまうので、皆さん住民から様々な意見をいただき、警察活動に取り入れていきたい。
視　　察	「出雲警察署写真コンクール」を審査し、上位入賞者は後日表彰することとしている。	
写　　真	 【会長挨拶】 【署長挨拶】 【協議状況】  【協議状況】 【協議状況】 【写真コンクール審査状況】	